

横田小学校区協議会質問内容	町・教育委員会 回答(1月19日時点)
○役場の姿勢(要望がどこまで聞いてもらえるか・丁寧な対応をしてもらえるか)	
この小学校再編に関する案件は誰が最終決定権者か。どういったプロセスでどの組織が決定するのか？	最終的な決定権者としては町長となりますが、小学校再編については、町長、教育長及び教育委員で構成する総合教育会議で協議を行っており、総合教育会議での協議内容が尊重されます。
再編について協議会で時間を費やして議論してきた。要望等はどの程度聞いていただけるのか？また回答はいただけるのか？	いただいたご意見要望は、様々な検討した上で可能なものについてはできるだけ反映したいと考えます。なお、回答はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
教育版タウンミーティングはいまさら感がありますがテーマと内容は何でしょうか？小学校再編がテーマではなく、未来を見据えて「奥出雲のこれからの教育」について、意見交換をするべきではないでしょうか？	教育版タウンミーティングは仁多、横田地域に分けて行う予定です。これからの学校教育をテーマにして、子どもたちの豊かな学びのために、小学校再編の話題を中心に意見交換をする予定としています。
教育版タウンミーティングと小学校再編の協議会での議論とのすみわけは？	町として提案している小学校再編の内容や現在の各校区別協議会の真摯な議論内容が十分に伝わっていない状況を踏まえ、教育版タウンミーティングは町の考え方や校区別協議会でのどのように協議がされてきたかを共有する時間をもった上で、奥出雲町の学校教育のこれからについて町民の皆さんに広く意見をお聞きする機会とするものです。 小学校再編については、あくまで各校区別協議会の意向を基に決定させていただきます。
役場の担当課はどこで、何名で担当されていますか？	小学校再編担当は教育魅力課学校再編グループ職員2名で担当しています。
現在の地区協議会については、町からは積極的な関与しておらず、協議会のまとめや印刷等の事務的負担が大きい。また、協議会に任せっぱなしという感じが非常に強く、協議会の一部のメンバーの中でも行政の姿勢を疑問視する声が上がっている。各校区、担当者を置くなど、もう少し丁寧な進め方があったのではないかと？来年度以降も含め、協議会の負担軽減をお願いしたい。	校区別協議会の運営や地域の意見集約にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。手続きや進め方については、様々な方からご指摘やご意見をいただいております。来年度から役場内の体制も強化して、協議会の負担も軽減できるように対応したいと考えております。
統合と20人規模のクラス編成は、どちらが主たる論点なのか。20人規模であるならば、横田地域に1校ではなく、まずは横田地域に2校 などとしても良いのではないかと？	子どもたちの豊かな学びのために、子どもたち同士で学びあえる環境として学級規模20人程度を提案しています。この環境を確保するための手段として、再編が必要であるというのが、町の考えです。 児童数の推計によると、横田地域では令和6年度以降には、入学する児童数は概ね20人程度の学級規模となり、横田小学校を除く全ての小学校で複式学級が1つ以上できる想定になるため、できるだけ早い時期(令和7年4月)の再編を提案しております。
各地区の感情等もあるとおもいますが、統合ではなく、横田小学校に合併にならないのはなぜでしょうか？	町内全ての校区を対象として、仁多地域1校、横田地域1校に小学校を再編する方針を示しているため、全ての小学校が閉校して新しい学校をみんなで作るという考え方が適切だと判断し、統合という扱いで提案しました。
○通学について	
横田地区で小学校までの距離が遠い地区(蔵屋など)の児童もバス利用ができるようにダイヤを組んでいただけるか？	通学路の状況については様々であると認識しています。通学手段については、個別具体的な対応が必要になる可能性もあって考えています。どの地域でどのような対応が必要かについては、意向とりまとめ後に検討を予定しています。
通学路の再点検をされる予定はありますか？	
横田統合小学校のバスの乗降場所などの見守りの対応については、どうお考えでしょうか？	統合小学校敷地での乗降については、学校教職員も含めた対応となると想定しています。
各地区、閉校となる小学校等が集まってから、みんなでバスに乗りし統合小学校へ通学することはお考えでしょうか？	ご提案の内容も一つの考え方だと思います。通学方法にかかる課題については、再編意向取りまとめ後に地域との関わり検討部会を立ち上げて検討する予定としています。
○校舎について	
横田地域も新築することは可能でしょうか？	横田地域統合小学校は、現横田小学校校舎を前提とし、必要な改修を予定しています。 校舎の新築は予定していません。

横田小学校区協議会質問内容	町・教育委員会 回答(1月19日時点)
<p>統合後、クラスが増えるため、パソコンルームの改修、あるいは、仮設教室による対応とあったが、その後、どのような計画になったのか？</p>	<p>横田地域すべての校区が再編に同意して横田地域統合小学校が新しくできた場合に、令和7年度時点では、通常学級が7学級、特別支援学級が3学級を想定しており、現在の横田小学校の学級数からすると2学級増える想定をしていますが、1人1台端末の整備により使用頻度が低下するパソコンルームの教室改修などの対応を検討しています。</p>
<p>仁多地域統合小学校(仮称)の設備と同等となるよう改修は必要と考えていますとあるが、具体的にはどのような改修を想定しているか？</p>	<p>特別教室のエアコン設置や老朽化している設備の更新、劣化している床の修繕は必要だと考えています。</p>
<p>統合を機に、より充実した学習・生活環境(プロジェクター、WiFi、フリースペース、地域と交流するスペース、特別支援教室等)を整えることは考えておられますか？</p>	<p>教室数については、対応が必要と認識しています。その他設備等の充実については、仁多地域統合小学校(仮称)の設備と同等となるよう改修は必要と考えています</p>
<p>○支援が必要な子どもたちについて</p>	
<p>横田地域(あるいは奥出雲町全体として)で温泉小学校のようなサードプレイスをつくる考えはありますか？</p>	<p>不登校や特別支援については現在でも教育上の重要な課題として認識しています。 このため、平成31年度より教育魅力課に専任の会計年度任用職員を配置し取り組みを強化しています。町内での不登校に係る支援施設の設置は、専門的な人材の配置が必要なことから、具体的な設置の検討まで至っていません。</p>
<p>支援が必要な子どもたちの居場所の確保はどうされますか？</p>	<p>ご指摘の内容については、学校再編に関わらず今後も重要な課題として取り組みます。</p>
<p>○職員配置について</p>	
<p>横田地区に統合小学校1校、中学校1校になる。小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を行うため、義務教育学校への移行のお考えは？また、教育の魅力化にもつながると思いますが、いかがでしょうか？</p>	<p>義務教育学校への移行については、現時点では予定していません。</p>
<p>横田高校も含め、小中高の一貫教育も可能であると思いますが、お考えは？</p>	<p>小中校の一貫的なふるさと学習も視野に、段階的に連携を図っていきたくと考えています。</p>
<p>○コミュニティスクールの検討</p>	
<p>益田市などのように 地域との橋渡し役となる「地域コーディネーター」の配置のお考えは？</p>	<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入は現時点で予定していません。 小学校再編にあたって、ふるさと学習については、再検討が必要だと認識していますので、必要な人員配置を検討してまいります。</p>
<p>○来年度以降の協議の在り方について</p>	
<p>そもそも4地区PTA組織がありますが、協議会は必要でしょうか？行政がある程度、素案をつくり、代表者会等に諮る形で良いのではないのでしょうか？</p>	<p>意向確認後、令和4年度には同意された校区で統合小学校の開校に向けて各種検討部会を立ち上げてPTA、地域の代表に参加いただくことを予定しています。校区別協議会では、検討部会参加者から校区内への報告、周知、意見の集約をお願いしたいと考えています。</p>
<p>事務的な協議が多くなると思いますが、4地区それぞれの思いや考えをすり合わせて、「どのような子どもに育てたいか」「どのような教育を受けさせたいか」など、教育の根本的な議論が必要だと思います。そうした議論を是非取り入れていただくよう、要請します。</p>	<p>ご提案の内容については、意向取りまとめ後、令和4年度から設置予定の新小学校立ち上げ検討部会の中で取り上げたいと考えます。</p>
<p>再編に同意した地区で、これまで分かれていた協議会がひとつとなり協議・議論を進めていくのか？決して、充て職ではなく、令和7年度統合を見据えた人選を要請する。毎年度、中心メンバーが変わってしまうと、議論の継続性が担保できない可能性がある。今年度の協議会の会長・事務局などから意見を聞き、教育委員会、町長部局が一体となって、運営を行っていただくことを強く望む。</p>	<p>意向確認後、令和4年度には同意された校区で統合小学校の開校に向けて部会を立ち上げてPTA、地域の代表に参加いただくことを予定しています。</p>
<p>統合の前倒しは柔軟に対応するとあるが、現時点で令和6年の統合は可能か？</p>	<p>校区の実情から町提案時期を待たずに統合を希望される場合については、編入という形で統合できるという選択肢を示しています。全ての校区がそろって町提案時期よりも前に統合し、新小学校を立ち上げることは不可能です。</p>

横田小学校区協議会質問内容	町・教育委員会 回答(1月19日時点)
○中学校の統合について	
<p>中学校の統合について、現段階での考えているのか 今回の小学校再編を議論する際、中学校の統合も議論するべきだという声が一足数出てきている。「中学校再編については、教育総会議で議論をして。」という回答をいただいているが、どのような状態になれば、中学校の再編について、教育総会議で議題として取り上げるようになるのか。基準を示していただきたい。</p>	<p>中学校再編について検討を始めるための明確な基準はありませんが、仮に提案する場合には、小学校再編と同様に有識者会議への諮問、答申を受けてからになると想定しています。</p>
○小学校が奥出雲町内に1校となる可能性について	
<p>次の再編につながる判断基準はありますか？ 今回の20人規模の人数が適正であるという観点から行くと、仁多統合小学校・横田統合小学校の再編も10年後などに始める可能性があるのではないのでしょうか？</p>	<p>学級規模20人程度の確保については、現時点での町の提案です。仮に次期再編提案をする場合には、その時の情勢などを勘案して提案することになると考えます。</p>
○その他	
<p>令和7年4月に小学校1、2年生になる児童の場合、親の判断等により他地区から横田小学校に入学することができるのか？</p>	<p>区域外通学については、町の規則や要綱に従い、従前と同様の運用を行います。</p>
<p>GIGAスクール構想の実現について、教師が児童に知識や学び方を教えることはもちろんですが、端末を使い、児童一人一人の学習状況に応じた個別学習としてデジタル教材活用した学習など、ニューノーマルにおける新たな学びと必要な環境整備を早急に対応していただきたい。</p>	<p>デジタル教材については、個別学習だけでなく、一斉学習や協働学習等に対応した多種多様な教材があります。現在町内学校の教職員とも連携してアプリ研究事業を実施し、今後のデジタル教材の活用を検討しております。</p>
<p>少人数教育の良いところの周知も必要ではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通り小規模のメリットとデメリット、統合のメリットとデメリットは、それぞれあります。平成31年3月に示しました「奥出雲町立小学校再編方針」の8～13ページで触れておりますのでご確認ください。 小規模校のメリットについては、10～11ページに「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の内容を引用して下記のとおり記載しております。 ①一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい ②意見や感想を発表できる機会が多くなる ③様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる ④複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる ⑤運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える ⑥教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、ICT機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である ⑦異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる</p>
<p>社会情勢が大きく変化する中で、PTAが主催ではなく、行政が主催者となりセミナーを開催するなど、教育に対する保護者の意識啓発が必要ではないのでしょうか？</p>	<p>今年度中に開催する教育版タウンミーティングでも、これからの学校教育をテーマにして、子どもたちの豊かな学びのために、小学校再編の話題を中心に意見交換をする予定としていますので、ぜひ保護者の皆様にもご参加いただきたいと思いますと考えています。</p>